

くり返さない、忘れぬ

読谷小学校 六年 大城 健人

みなさんは、平和の国に生まれて何を思いう

かへますか。僕は真逆の戦争か思いうかんで

きます。僕は今こうして普通に暮らせている

事がとても幸せだと感じています。友達と笑

って出れること、なに不自由なく暮らせるこ

とそんな日常が大好きです。

でも七十四年前にその日常が消え去って

いきまじれた。アメリカが日本全土をせめるた

めに、まず沖縄をせめてきました。空から

海からと色々な方法でせめてきました。みな

さんが好きな沖縄の明るくキレイな空、青く

すき通って見える美しい海が真赤にそまリ

ました。沖縄では殺害されたのは、兵士だけ

ではなく、無抵抗な一般人もでした。たった

の一日で何万人もの人々が亡くなりました。話

を聞くだけで分かる怖さ、体験してもない

のに分かる恐ろしさ。実際に体験した人はど

れだけ怖かったか分からない。た気がしました。

健人

の戦争は昔たけではなく今も世界のどこかで
続いていきます。戦争をして何になるのか、何
をそごまてして争いたいのか今たに分かりま
せん。僕のおはあちゃんも戦争体験者でよく
この事について話をしてくれまます。毎回話し
てくるのでしづこいと感ずることか時々あり
ます。でもおはあちゃんはくり返してほしく
ない、忘れないでほしいと感ずているのでは
ないかと考えました。命のバトラーという
本には戦争体験者の話を元にして作られた
話しかありません。その話はとても辛く、心
がいたむ物は、かりせず。それだけ戦争への
辛さが分かりました。
「戦争は人を人じゃなくする。」
これは戦争体験者の言葉です。この言葉に僕
はとても考えさせられました。
これらの話から僕は今こうして生きていれ
ることもかとても幸せです。それと同時に幸せ
なになれること、幸せた感じれることかあり
かたいと改めて考えました。それから、困る

健人

ことなく何かを食へれる
できること
に感謝
していきたいです
戦争をくり返さない
心
れない
このことを
忘れず
いきたいです